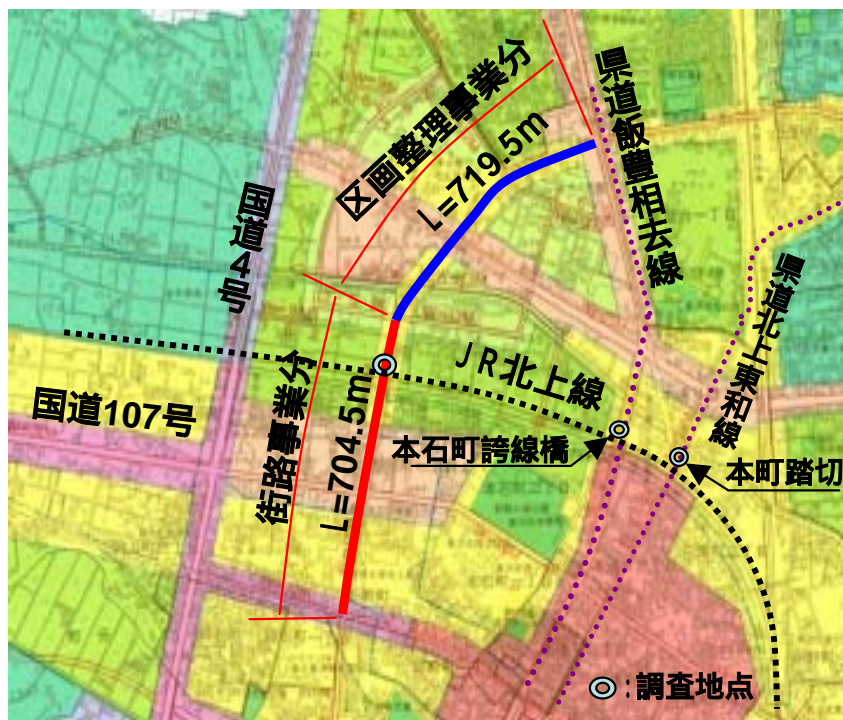


事業による成果、事例等

都市計画道路上川原常盤台線（北上市） 北上市事業

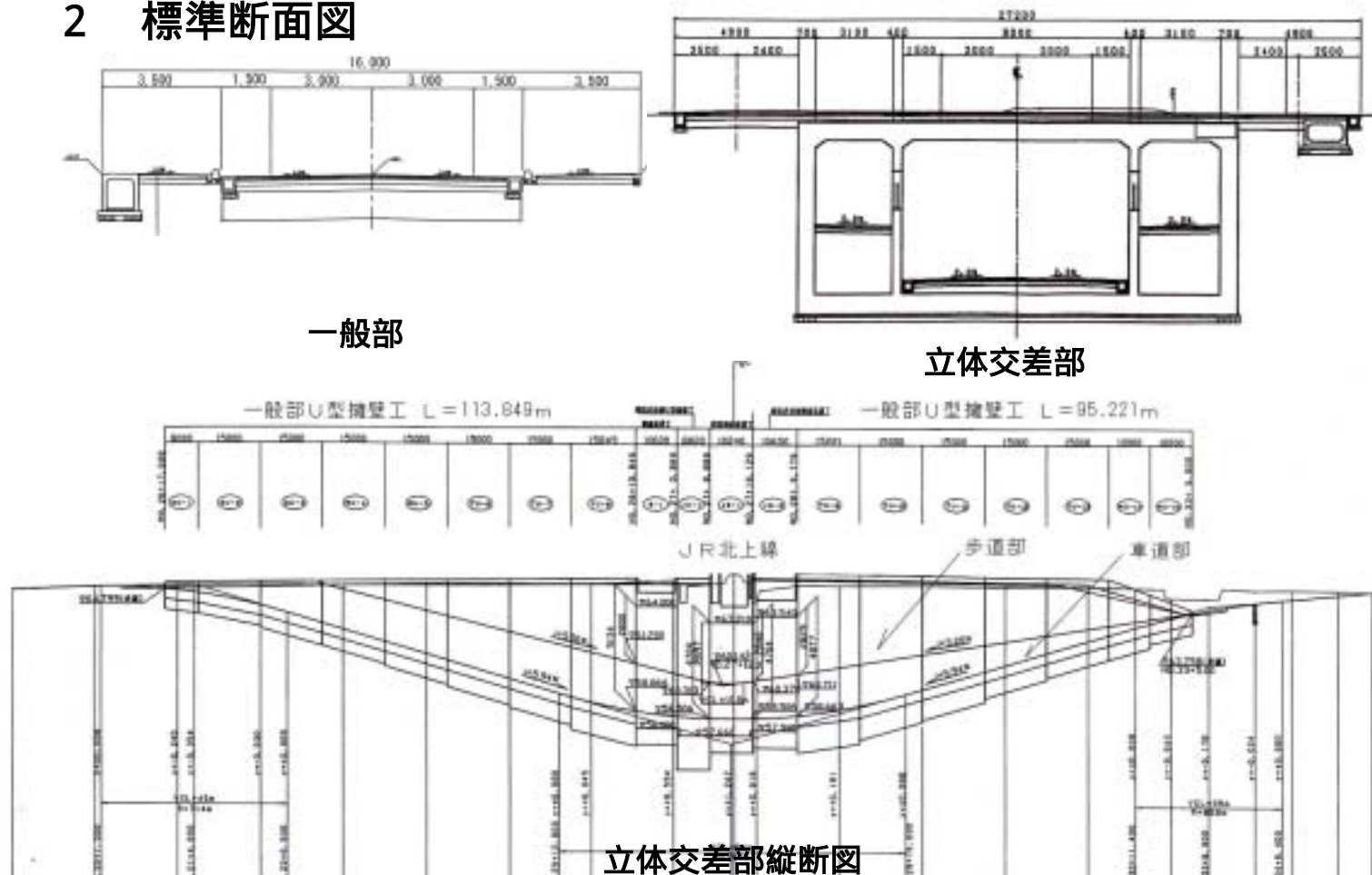
1 位置図



事業目的
踏切による車両片側通行及び交通遮断に伴う慢性的な渋滞の解消と、中心市街地を囲む内環状路線として安全で円滑な交通確保を図ることを目的とした事業です。区域内で施行中の黒沢尻西部区画整理事業と歩調を合わせるにより相乗効果高め、一体的なまちづくりを行います。

全体延長1,424.0m
(街路事業704.5m 区画整理事業719.5m)
事業期間 H2～H16

2 標準断面図



3 整備状況



4、整備効果

1 競合路線

(上下交通量:人/台/%)

路線名	県道北上東和線(本町踏切)			市道九年橋藤沢線(本石町跨線橋)		
	前回	今回	増減割合	前回	今回	増減割合
歩行者	419	439	104.8	71	85	119.7
自転車	1,167	956	81.9	138	115	83.3
バイク	126	127	100.8	76	62	81.6
自動車	8,003	6,969	87.1	11,451	10,133	88.5
計	9,715	8,491	87.4	11,736	10,395	88.6

- 自動車交通量は本町踏切で1,034台、本石町跨線橋で1,318台の計2,352台が減少し、上川原常盤台線開通の影響が顕著に現れています。
- 両路線とも交通量が平均88%まで減少し、交通緩和が図られたものと考えられます。

2 当該路線調査結果(参考資料)

上川原常盤台線立体交差 (上下交通量:人/台/%)

歩行者	自転車	バイク	自動車	計
124	328	34	6,829	7,315

調査箇所は、位置図のとおり